

水田には水を引くなど田植えの準備が進んでいます。移植に向けてしっかりと育苗管理を行いましょう。

## 1 これからの育苗管理

表1 育苗後半の管理ポイント

	2.5葉～3.0葉	3.0葉～移植
管理の要点	・ハウス内温度に注意し、十分な換気で苗の徒長を防ぐ。	・外気温に十分馴らす。 ・かん水不足に注意する。
ハウス内適温	18℃～20℃	18℃～外気温
管理作業	・ハウス内温度が20℃以上や晴天日は換気する。 ・晴天日早朝より肩、裾換気を行い、夕方早めに閉じる。 ・ <u>夜間10℃以下になる場合は、シルバーポリ等で覆う。</u>	・ <u>ハウス内温度を25℃以上にならないようにする。</u> ・外気温と同様にする。 ・降霜に注意しながら、昼夜ともに肩、裾を大きく解放する。
かん水	目安	・早朝、葉先に水滴がついていないか確認する。 ・日中・葉が細い針のようになっているか確認する。
	方法	・早朝にかん水を床土全体に行き渡るように行う。 ・気温が低いときは行わない。

## 2 胚乳消尽期(2.5～3.0葉期)の管理に注意！

この時期は、急激な温度変化などにより、苗の抵抗力が低下します。弱くなった苗は苗立枯病の発生につながりますので①急激な温度変化を避ける ②過湿にしない ③風上から直接風を入れない等、細やかな管理が必要です。

## 3 移植が遅れる場合は老化苗対策を！

中苗マット苗で育苗期間が35日を超える場合は、老化を防ぐために1箱当たり窒素1gを目安に追肥を行いましょう。

**ストップ！農作業事故 忙しくても農作業はゆとりをもって**